

管理番号	検査項目	掲載日
1-A-1	巻上機綱車溝の摩耗状態の判定基準 (SPAGEL-EX シリーズ)	2017-3-24

## 1. 適用

巻上機型式 TML06 シリーズ、TML10 シリーズに適用します。

尚、TML06J1、TML06J2 など型式の展開を TML06 シリーズと総称しています。

TML10 シリーズについても同様です。

## 2. 検査方法

綱車の各溝に対して、3. 判定基準にある寸法を測定し判定を行ってください。

## 3. 判定基準

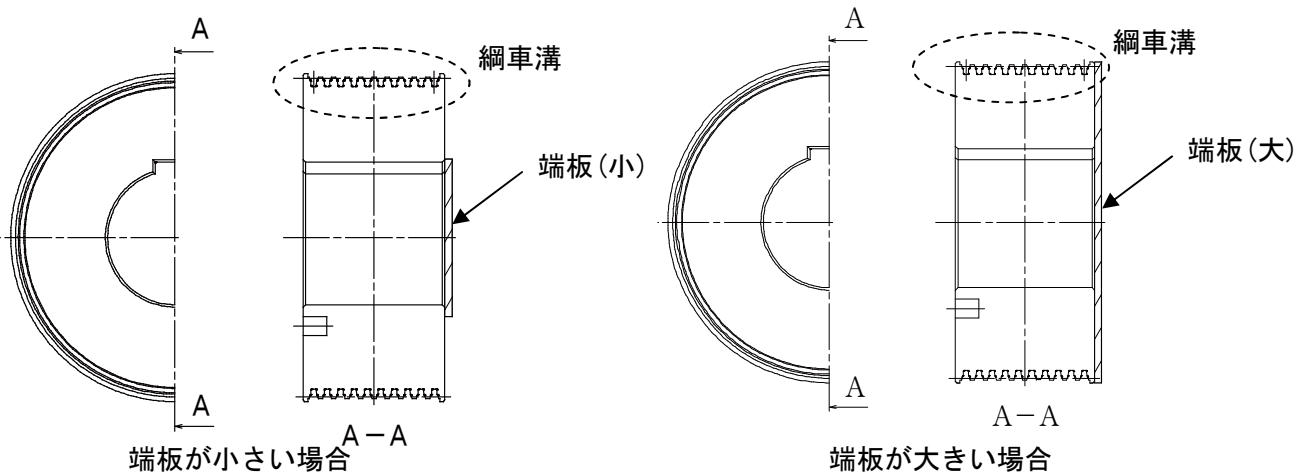


図 1. 綱車全体図

綱車の摩耗限界は、端板の大小と塗色により図 2～図 4 を参照。

色 サイズ	黄色	灰色	黄味明灰色
大	図 4	—	—
小	図 2	図 3	図 4

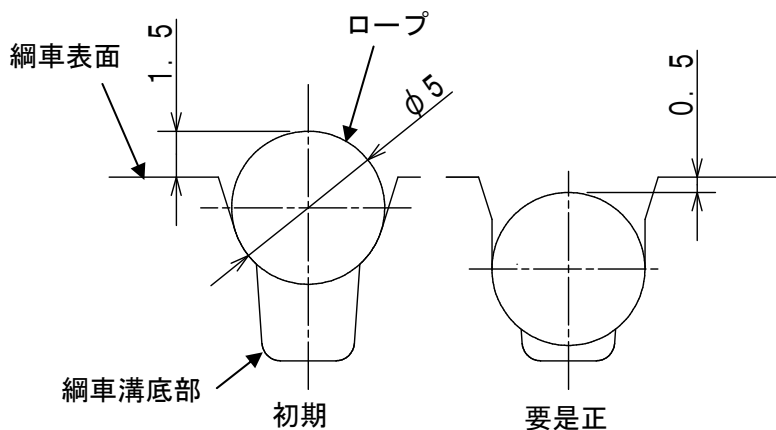


図 2. 綱車の摩耗限界 (端板が黄色の場合)

管理番号	検査項目	掲載日
1-A-1	巻上機綱車溝の摩耗状態の判定基準 (SPAGEL-EX シリーズ)	2017-3-24

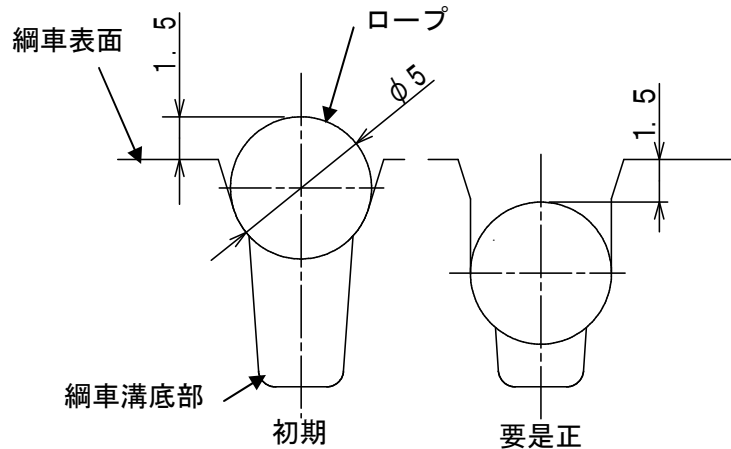


図3. 綱車の摩耗限界 (端板が灰色の場合)

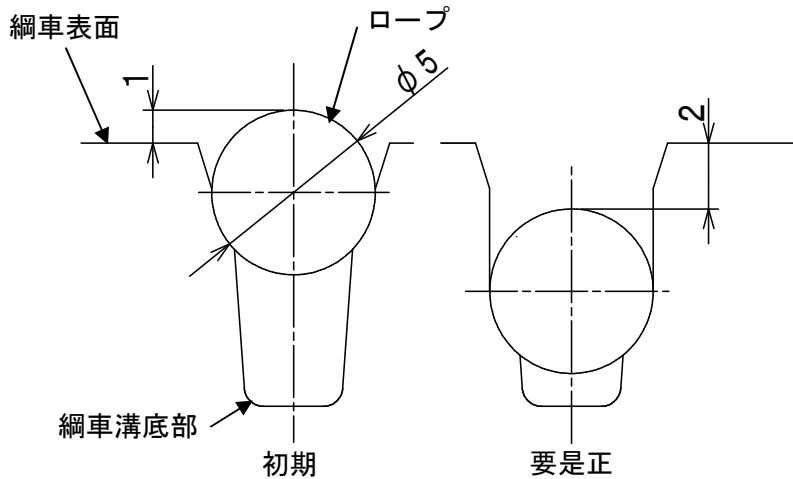


図4. 綱車の摩耗限界 (端板が黄味明灰色、または端板(大)で黄色の場合)

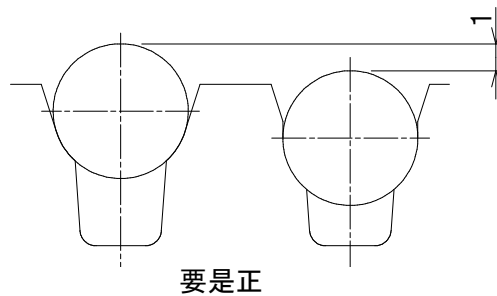


図5. 綱車溝間の摩耗差

- ・ 綱車に設置の端板が黄色の場合は綱車表面よりロープが0.5[mm]下がる前に交換してください。(図2)
- ・ 綱車に設置の端板が灰色の場合は綱車表面よりロープが1.5[mm]下がる前に交換してください。(図3)
- ・ 綱車に設置の端板が黄味明灰色の場合は綱車表面よりロープが2[mm]下がる前に交換してください。(図4)
- ・ 前回までの点検データから、次回点検時に要是正の範囲になると予想される場合は交換してください。
- ・ 各ロープ溝間の摩耗に1[mm]以上の差がある場合は、ロープ径に関係なく交換が必要です。(図5)